

土浦から水戸へ

DXアンテナが茨城営業所移転

DXアンテナ(株) (米山社長) は、8月31日より茨城営業所を移転した。開所式で挨拶に立った米山社長は、「茨城県は、人口が約292万人で当社にとっては重要な県であり、関東において営業所を整備している最中



米山社長



大和田支店長

だ。関東の市況は厳しい状況が続いているが、当社にとっては開拓の土地であり、しっかりと開拓していきたい」と訓示を述べた。続いて、大和田支店長は「茨城県は筑波を中心とした都市圏と水戸を中心とした都市圏がある。水戸を中心とした都市圏は70万人の人口があり、非常に大きな市場だ。平成5年に

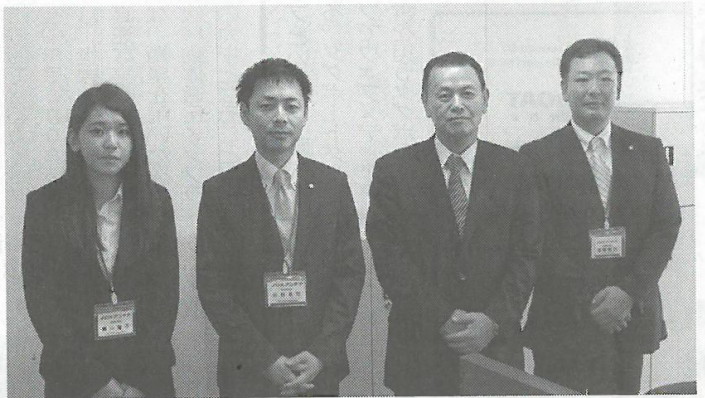
最初に茨城に出店してから22年が経ち、以来ずっと右肩上がりだったが、去年の夏から変調がでてきて、ここに来て踊り場にはいり伸び悩んでいるというのが現状だ。ここは交通アクセスのよい地であり、頑張って開拓してもらいたい」と檄をど

ばした。引き続き、矢野営業所所長は「本日、無事に開所をむかえることができた。今回、土浦市から水戸市へ移転ということ、じっくり足をすえて地



元密着で営業ができる。今後、地元の顧客を開拓し、シェアのアップ、売り上げを向上させ、ゆくゆくは会社をひっぱり上げていきたいの思いだ」と決意を述べた。今回、営業所を移転したのについて、矢野所長は「茨城県は、北と南で文化

が異なっているところがあり、北の方のシェアが低いところに営業所を移す必要がある」と述べた。また、矢野所長は「北の方が営業所を移す必要はない。現在は3人体制だが、将来的には5、6人まで増やしたい」と熱く語った。(T)



(左から) 磯山綾花氏、矢野所長、米山社長、柘植主任

が異なる。情報が集まりやすいため移転した。また水戸は県庁所在地であり、情報が集まりやすいことも考慮した」と述べた。また、矢野所長は「北の方が営業所を移す必要はない。現在は3人体制だが、将来的には5、6人まで増やしたい」と熱く語った。(T)

中、デルカテックブランドの商品、DXアンテナといえばセキュリティ製品だといえるくらい定番化してきた。現在は3人体制だが、将来的には5、6人まで増やしたい」と熱く語った。(T)

▽住所：〒310-0803 茨城県水戸市城南1丁目1番6号
甲南アセットサザン水戸ビル6F
▽TEL：029-284-1501
▽TEL：029-284-1501
▽FAX：029-224-0133